

原子力機構 J-PARC ハドロン実験施設における 放射性物質の漏えいについて(速報)

1 発生日時

平成25年5月23日(木) 11時55分

2 県への通報日時

平成25年5月24日(金) 21時40分頃

3 発生場所

(独)日本原子力研究開発機構東海研究開発センター
原子力科学研究所 J-PARC ハドロン実験施設

4 状況

(1) 5月23日(木)、ハドロン実験施設において、金の標的に陽子ビームを照射し、素粒子を発生させる実験をしていたところ、ビーム取出装置が誤作動したことにより、短時間に想定以上のビームが標的に照射された。

このため、標的である金が高温となり、その一部が蒸発し、生成された放射性物質がビームライン装置から施設内に漏えいしたものと推定される。

本事象により、施設内が汚染されたとともに、放射性物質が管理区域外へ漏えいした。

また、ハドロン実験施設内で作業していた研究者が被ばくした模様。

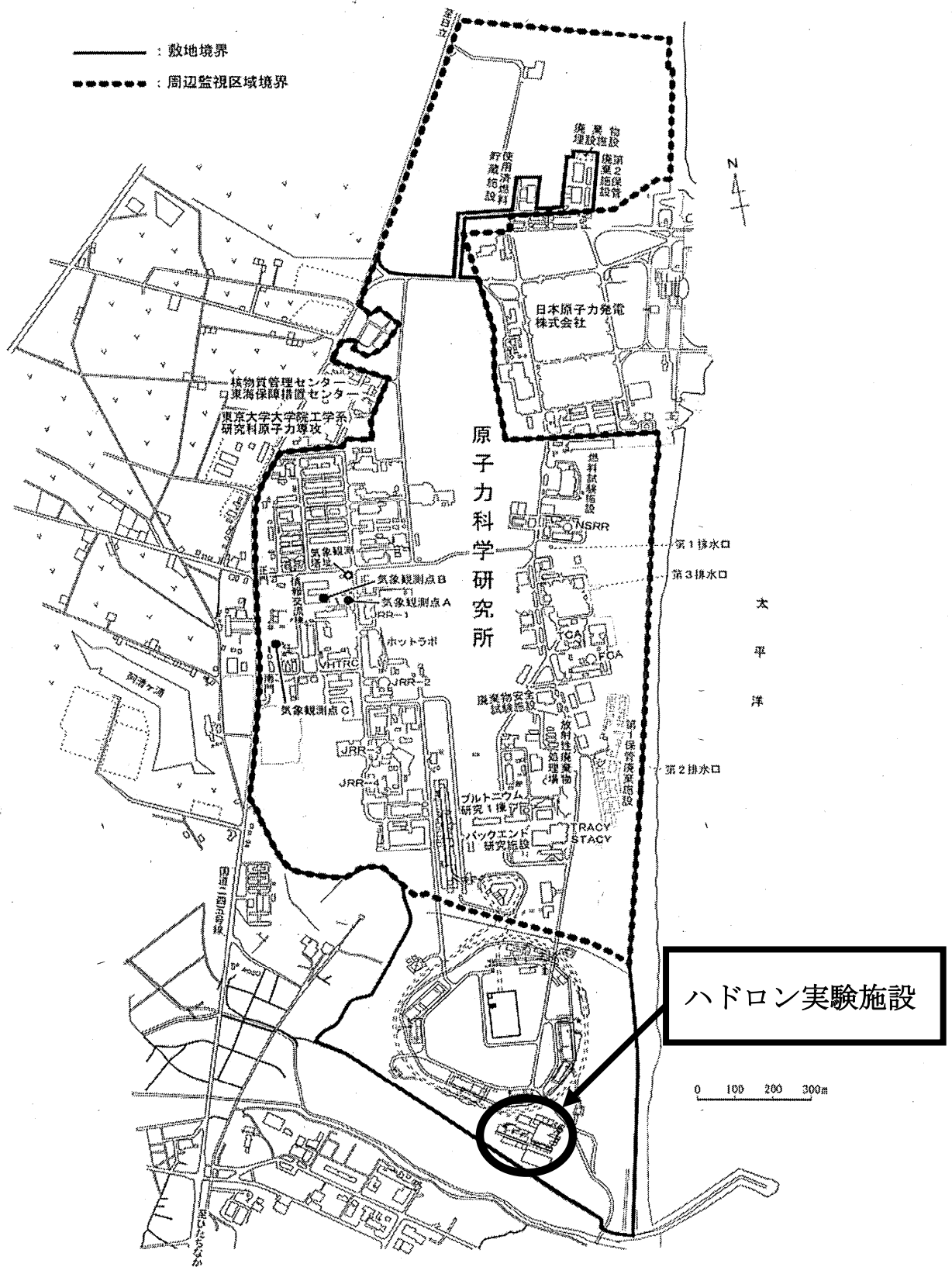
(2) 放射性物質の漏えい； あり (建屋内床面約 $30 \text{ Bq} / \text{cm}^2$)
(管理区域外への漏えい量は評価中)

(3) 環境への影響； 調査中
(隣接する核燃料サイクル工学研究所のモニタリングポストの値に一時的な変動あり)

(4) 人の汚染・被ばく； 調査中

【添付資料】

別紙 原子力科学研究所配置図



原子力科学研究所 配置図